

一緒に
考えて
みませんか？

どの党、どの人が市民の 願いにこたえられるか

不景気、円高・株安がつづくなかで、市民のくらしは大変になるばかり。いまこそ、どの党、どの人が市民の願いにこたえられるかが問われています。河村市長は減税ばかり強調していますが、その中身はどんなものでしょうか。それぞれの減税や議会改革、福祉・くらしを向上させる政策をみて考えてみませんか。

日本共産党



それぞれの「減税」を比べてみると…

日本共産党＝庶民減税	河村市長＝金持ち減税
○個人市民税の均等割額は、 現行3000円を100円に大幅に引き下げ ○標準世帯で年収800万円以下を対象にするため、 “金持ち減税ゼロ”	○均等割層の減税年額300円 ○一律10%減税のため、“ 金持ち減税ゼロ ”の公約違反。大企業・大金持ちほど減税額がアップし1035万円も減税になった大金持ちも。

くらしを守る日本共産党の 組み替え 提案

日本共産党名古屋市議団は河村市長に対し、大企業・大金持ち減税やめてくらし、福祉を充実させる予算組み替えの提案を行いました。

大企業・大金持ち減税をやめて、庶民減税に切り替える

+

不要不急の大型事業の中止・見直しを行う



○国民健康保険料を1人1万円引き下げを
○中学卒業まで通院医療費無料化を
○就学援助の所得制限を生活保護基準の1.3倍程度に緩和を
○住宅リフォーム助成制度の創設を
○工場の家賃や機械のリース代など固定費にたいする助成制度を

など

11
100億円の財源

●真実がわかる 明日が見える―「しんぶん赤旗」をぜひお読みください。（日刊紙2900円/日曜版800円）

国政事務所ニュース

2010年
9月号外

発行：日本共産党国会議員団愛知事務所

〒460-0007 名古屋市中区新栄3-12-27 電話052-261-3461

日本共産党の見解を紹介します。ご意見、ご感想をお寄せ下さい。

くらし・福祉最優先の政治へ みなさんと力を合わせて実現！

日本共産党市議団は、市民と力を合わせて様々な市民要求を実現しています。議会改革にも率先して取り組んでいます。

日本共産党



- 保育料の第3子以降無料の廃止をストップ
- 国民健康保険料を引き下げ
- 自動車図書館の廃止をストップ
- ヒブワクチン予防接種助成を実現

※河村市長が実施を渋っていた中学校卒業まで医療費無料（通院）も、2011年度予算に盛り込むことを市長が明言。

一方で…

河村市長は減税の財源に福祉バツサリ

- 城西病院の市営廃止と緑市民病院の民営化
- 学童保育への助成を減らす…5442万円
- 私立高校・私立幼稚園授業料補助を減らす…2億1391万円
- 民間保育所の障害児保育補助金の削減、園児寄生虫卵検査、保育所地域活動補助金をなくす…425万円
- 子ども会中津川キャンプ場をなくす…2306万円

- 苗代保育園、汐見が丘保育園の廃止・民営化
- 自動車図書館をなくす…3025万円
- 保育料の第3子以降無料の廃止、2段階保育料の導入・値上げ…3億4174万円
- 私立中学校等の結核健康診断補助を減らす…1079万円

など

【注】●削減されたサービス
○提案後にくいとめた提案

**市民の
声が通る**

「議会改革」を提案し前進

日本共産党市議団は一貫して、市民の声が通る議会改革を推進。1日1万円の議員手当＝議員費用弁償を廃止させ、議会の政務調査費も、共産党は1円から領収書を自主的に公開してきましたが、議会として領収書全面公開が今年度から実現。議員報酬については、「第三者機関で引き下げの検討を」と提案しています。

**河村市長の解散署名は
“市長いなり議会”をつくるため**

河村市長の市議会解散・リコール署名は、市長の提案に反対する議会を解散し、“市長言いなり議会”をつくるというもので、「議会改革」でなく民主主義破壊そのものです。